

第3学年題材指導計画

音のちがいや組合せを見つけて楽しもう（7時間扱い）

1. 題材のねらい

様々な楽器の音色の違いに気付き、音の特徴に気を付けて聴いたり表現に生かしたりすることができるようにする。

2. 教材について

(1) 音の仲間さがしをしよう（音楽発表会の楽曲のために）

《学習指導要領第3・4学年の内容との関連》A(3)イ, A(4)イ, B(1)ウ

ここでは、様々な楽器の音の特徴を聴き比べ、材質による音色の違いや音の高さ・長さの特徴を見つけ合う。実際に楽器の音を出しながら、金属、木、皮の素材による音の伸びの違い、管や板の長さによる音高の違い、同じ楽器でも奏法や打つ位置によって音の響きが違うことなどを見つけ合い、いろいろな音色に気付くようにしたい。

(2) 川の夜明けの音づくりをしよう（創作ミュージカル「ファインディング ヨシ！ノボリ」のために）

《学習指導要領3・4学年の内容との関連》A(3)イ, A(4)イ, B(1)ウ

創作ミュージカルの場面に合う音をつくる。お話の内容から、自分たちがつくる場面を想像し、「音の仲間さがしをしよう」で見つけ合った楽器の音の特徴を生かして、「川の夜明け」の音づくりをする。場面の様子については、子ども達の「総合的な学習の時間」に行った川の様子から短いお話をつくり、音の長さや高さ、奏法による響きの違いを、音の出し方や組み合わせ方を工夫し合う。友達のつくった音のよさにも気付かせ、自分たちで音楽をつくるよさや楽しさも味わうようにしたい。

(3) おかしのすきな まほう使い 作詞 秋葉 てる代 / 作曲 大熊 崇子

《学習指導要領3・4学年の内容との関連》A(2)イ, A(1)ア, A(3)イ, A(4)イ, B(1)ウ

少しあわ展望な魔法使いの様子を、ユーモラスに描いた歌詞の楽曲。A(8)B(8)の二部形式であるが、Bの部分は歌詞をかえて再度歌うようになっている。ナレーションや台詞も示され、また、歌詞の中にも「魔法をかける音」を入れたくなるような部分があり、子ども達が自由な発想で歌い方やつくった音を工夫し合いながら、表現する楽しさを味わうことができる。学年全体で音探しや音づくりをしたときの活動を参考にしながら、学級でのグループ活動で、一人ひとりが音楽づくりの楽しさを感じ取りことができるようにしたい。

(4) バディネリ / 作曲 バッハ

オーボエ協奏曲 第2楽章 / 作曲 マルチェッロ

クラリネットポルカ / 作曲 ポーランド民謡

《学習指導要領3・4学年の内容との関連》B(1)ア, B(1)ウ

「冗談」という意味をもつ名のとおり、軽快で飛び跳ねるような旋律によって、透明感のあるフルートの音色の特徴を一層感じ取ることができる楽曲。曲想を感じ取るとともに、木管楽器の中でもよりリコーダーに近い音色であることに気付いて聴くようにしたい。

弦楽器が刻む穏やかなリズムにのって、オーボエの美しい音色が旋律を演奏する形でされた構成で楽曲。フルートとは違う独特の音色の特徴を感じ取るようにしたい。

ボヘミア地方で生まれた、軽快な2拍子の舞曲。テンポ、リズム、クラリネットの豊かな音色が溶け合い、思わず体が反応してしまうような楽しい楽曲である。自由に体を動かしたり手拍子をうったりしながら曲想を味わうとともに、奏法や音の出る仕組みによる木管楽器の音色のちがいなどにも関心をもって聴くようにしたい。

3. 題材の評価規準

	ア 音楽への 関心意欲態度	イ 音楽的な 感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材の評価規準	様々な楽器の音色に関心をもち、自分の感じ方や考え方を生かしながら、進んで聴いたり演奏したりしている。	様々な楽器の音色や響きの違いを感じ取ったり、イメージに合った歌い方や演奏の仕方を工夫したりしている。	イメージに合う音を選んで、場面や情景などを表現したりしている。	曲想に合った表現のよさを感じ取って聴くとともに、様々な楽器の音色の特徴を感じ取って聴く。
学習活動における具体的評価規準	<p>進んで様々な楽器の音を出し、音色の違いを見つけながら楽しんで活動している。</p> <p>[Aと判断するキーワード] たくさんの試行 カードへの多くのメモ 音楽の流れを体全体で受け止め、歌唱表現や身体表現をしようとしている。</p> <p>[Aと判断するキーワード] 伸び伸びとした身体表現 生き生きとした明るい表情 グループで協力し合い、進んで歌唱・音づくりの活動に参加している。</p> <p>[Aと判断するキーワード] 音づくりの活動のリーダーシップをとって みんなの表現に常に合わせようと</p>	<p>様々な楽器の音色や響きの違いを感じ取って、音の出し方を工夫している。</p> <p>[Aと判断するキーワード] 音への鋭い反応やつぶやき 様々な奏法を工夫 場面にふさわしい音を見つけ楽器を選んだり音の組み合わせ方を工夫したりしている。</p> <p>[Aと判断するキーワード] 工夫した図形楽譜 的確な楽器選択 曲想を感じ取り、歌い方や身体表現の仕方を工夫している。</p> <p>[Aと判断するキーワード] 拍の流れを感じ取った歌い方 歌詞の内容を生かした身体表現</p>	<p>打楽器の適切な扱い方や奏法を身に付け、場面の様子を表す音を工夫して演奏している。</p> <p>[Aと判断するキーワード] 示された奏法をすぐに試行 音色の違いを一つ一つ確かめて 様々な楽器の音の響きや組み合わせ方を生かして、音楽表現を楽しんでいる。</p> <p>[Aと判断するキーワード] イメージに合った的確な組合せ 互いの音を常によく聴いて</p>	<p>様々な打楽器の素材や奏法による音の響きの違いや表現のよさに気付いて聴く。</p> <p>[Aと判断するキーワード] たくさんの表現のよさに気付いて 真剣な聴き取り 全体の曲想を感じ取るとともに、木管楽器の音色の違いや奏法の違いを感じ取って聴く。</p> <p>[Aと判断するキーワード] 集中した聴き取りや鋭い反応・つぶやき 観点に沿った音色を比較した感想</p>

4 指導と評価の計画(7時間扱い)

:取り扱い項目 :取り扱い重点項目

時	主な学習内容	具体的評価規準	指導要領との関連	内容のまとまりとの関連				評価方法等
				歌唱	器楽	創作	鑑賞	
1	<p>【音の仲間さがしをしよう】 いろいろな打楽器に触れ、音色の違いを見つけ合う。</p> <p>・教師が楽器をたたいたり滑らせたりしながら、全員で音の違いに付いて見つけ合い、気付いたことを発表し合う。</p> <p>・楽器の名前や奏法を知り、気付いたことを</p>	ア -	A(3)イ					行動観察 発表 つぶやき ワークシート

	<p>ワークシートに記入しながら、全員で好きな楽器に触れ、音の違いを確かめ合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素材や奏法によって音色が違うことを確かめながら、音の出し方を工夫する。 ・分かった楽器の名前や見つけた音色、奏法について発表し合う。 	イ -	A(3)イ					
	<p>ウ -</p> <p>A(3)イ</p>							
2	<p>【川の夜明けの音づくりをしよう】</p> <p>楽器の音色の響きを聴き合い、気づいたことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に見つけたことを思い出しながら、教師のたたく様々な音をじっくり聴く。 ・響きの長さ、音の高さ、音の感じの違い、いい音の出る奏法について、気付いたことをワークシートに記入する。 <p>総合の学習体験から、川の様子を擬音語・擬態語で表す。</p>	エ -	B(1)ウ					発表 発言(グループ) 表情・行動観察 音探しの様子 図形楽譜
3	<ul style="list-style-type: none"> ・夜明け頃の自然、回りの様子、川の中の音などを思い出し、見つけた音を発表し合う。 ・見つけた音にふさわしい楽器の音色を見つけ合う。 <p>グループに分かれ、朝の川の様子を表現する音づくりの話し合いをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川の夜明けの場面を短いお話にする。 ・楽器の音を試しながら、お話や場面に合う音を見つけ合う。 ・見つけた音の特徴や音の出し方が分かるように、工夫して図形楽譜に表す。 ・イメージに合う音になるように、楽器の奏法を工夫して演奏する。 	イ -	A(4)イ					
	<p>ア -</p> <p>A(4)イ</p>							
	<p>イ -</p> <p>A(3)イ</p>							
	<p>ウ -</p> <p>A(3)イ</p>							
4	<p>「川の夜明けの音づくり」の発表会の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに、お話の流れに合うように音づくりを工夫し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・楽器の組み合わせ ・音の出し方 ・入れるタイミング </div> <p>発表会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちのつくった音で、聴いてほしいところや工夫したところを発表し、演奏する。 ・互いに演奏を聴き合い、よかったところを見つけ、発表したり感想カードに記入したりする。 	イ -	A(4)イ					発言(グループ) 表情・行動観察 音づくりの様子 演奏聴取 感想カード
	<p>ウ -</p> <p>A(4)イ</p>							
	<p>エ -</p> <p>B(1)ウ</p>							

5	<p>【おかしなすきな まほう使い】</p> <p>様子を思い浮かべながら、範唱や朗読を聴き、お話の流れをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 歌詞や挿絵、ナレーションから全体の流れをつかむ。 範唱に合わせて、表情豊かに歌ったり身体表現したりする。 範唱に合わせて、リズムや音程に気を付けながら歌う。 リズムカルな曲想や歌詞の内容を生かしながら、身体表現や歌い方を工夫し合う。 みんなの考えを生かしながら、表情豊かに歌う。 この後どんな音楽表現をしてみたいか、考えたことを発表し合い、グループごとに担当する場面を決めたり音づくりの話し合いをする。 	ア -	A(1)ア			表情観察 歌唱聴取 身体表現 発表 発言(グループ)
6	<p>場面に合う音づくりを工夫し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 担当する場面の楽器の組み合わせ方や音の出し方を工夫し、「魔法をかける音」をつくる。(図形楽譜) 工夫した「魔法をかける音」を入れて、身体表現・歌・朗読を入れて、表現のまとめをする。 グループ発表をし、つくった音のよさを見つけ合う。 グループごとに「魔法をかける音」を入れた表現を発表し合う。 音の出し方や歌い方、身体表現の工夫を見つけ合いながら、ワークシートに気付いたことや感想を記入する。 	イ -	A(4)イ	ア -	A(4)イ	行動・表情観察 音づくり 歌唱聴取 身体表現 相互評価 発言(グループ) ワークシート 図形楽譜
7	<p>【パディネリ・オーボエ協奏曲・クラリネットポルカ】</p> <p>木管楽器の音色の違いや特徴、美しさを感じ取って聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「パディネリ」を聴き、主旋律の楽器の音色について感じたことを発表し合う。 「オーボエ協奏曲」「クラリネットポルカ」を聴き、「パディネリ」の楽器の音色と聴き比べ、気付いたことをカードに書く。 それぞれの楽器の名前を知り、奏法の違いに気を付けながら聴く。 写真を見て、それぞれの楽器の名前や音の出る仕組みを知る。 もう一度3曲を聴き、奏法の違いを見つけながら、曲想の違いを味わって聴く。 曲想や奏法について気付いたことをカードに書く。 	エ -	B(1)ウ			身体反応 つぶやき 鑑賞カード

